第1号様式
所属進行表

業務運営進行表

（平成28年４月１日～平成29年３月31日）

所属	局名	部名	室・課（出先は所属）名	所属のホームページ
	会計局		会計課	http://www.pref.kanagawa.jp/div/2103/

Ⅰ　業務概要

会計局会計課長の二見です。
会計課は、主に次の仕事をしています。
①会計局内の予算、人事などの事務を行っています。
②公金の管理・運用や支払業務を行っています。
③県の１年間の収入・支出の総額を集計し、県議会で審議するための資料（歳入歳出決算書など）を作成します。

Ⅱ　支出の状況

（単位：千円）

			第１四半期	第２四半期	第３四半期	第４四半期	出納整理期間	累計
事業経費	項目	(再)配当額	支出済額					
	事業費（注1）	6,338,897	1,646,206	1,527,267	1,605,423	1,521,415	32,451	6,332,762
	維持管理費							0
	計	6,338,897	1,646,206	1,527,267	1,605,423	1,521,415	32,451	6,332,762
人件費　（注2）			66,725	44,877	70,417	46,839		228,858
計(注3)			1,712,931	1,572,144	1,675,840	1,568,254	32,451	6,561,620

（注１）事業費の約９割は、基金を運用して得た運用利益を基金に支出した「積立金」です。
（注２）人件費には職員数に共済費及び退職手当の平均単価を乗じて算出した共済費相当額（事業主負担分）及び退職手当相当額が含まれています。
（注３）項目毎に千円未満四捨五入を行っているため、各計欄は各項目を合計したものと一致しない場合があります。

Ⅲ　職員配置状況

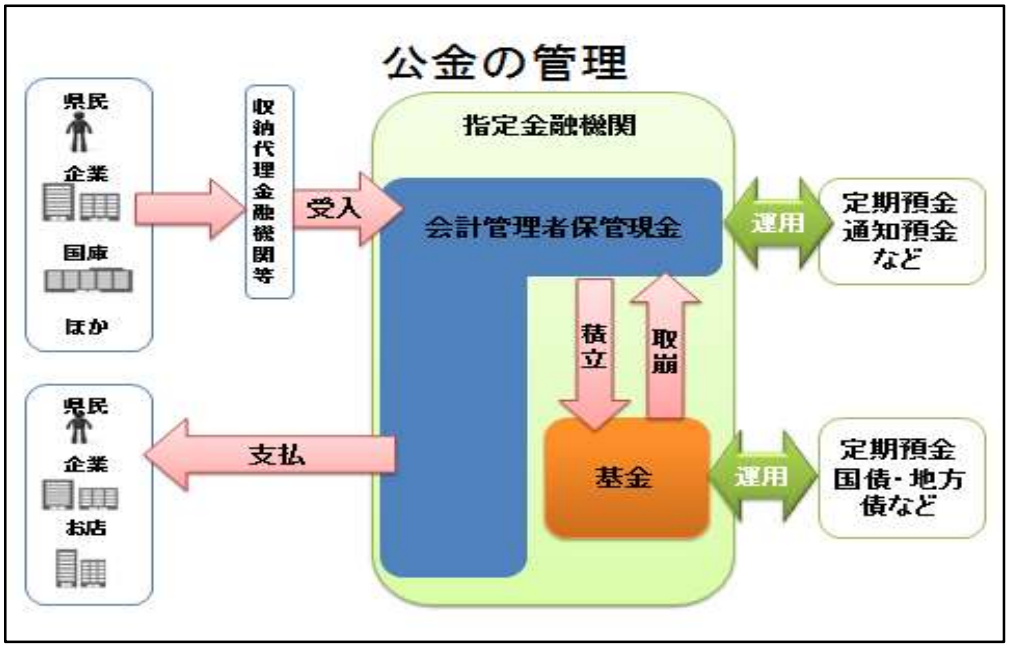
	区分	４月１日	７月１日	10月１日	１月１日
配置職員数	常勤職員	22	23	23	23
	上記以外の職員	5	5	5	5
	計（人）	27	28	28	28

Ⅳ　業務実施状況

1　公金の管理・運用

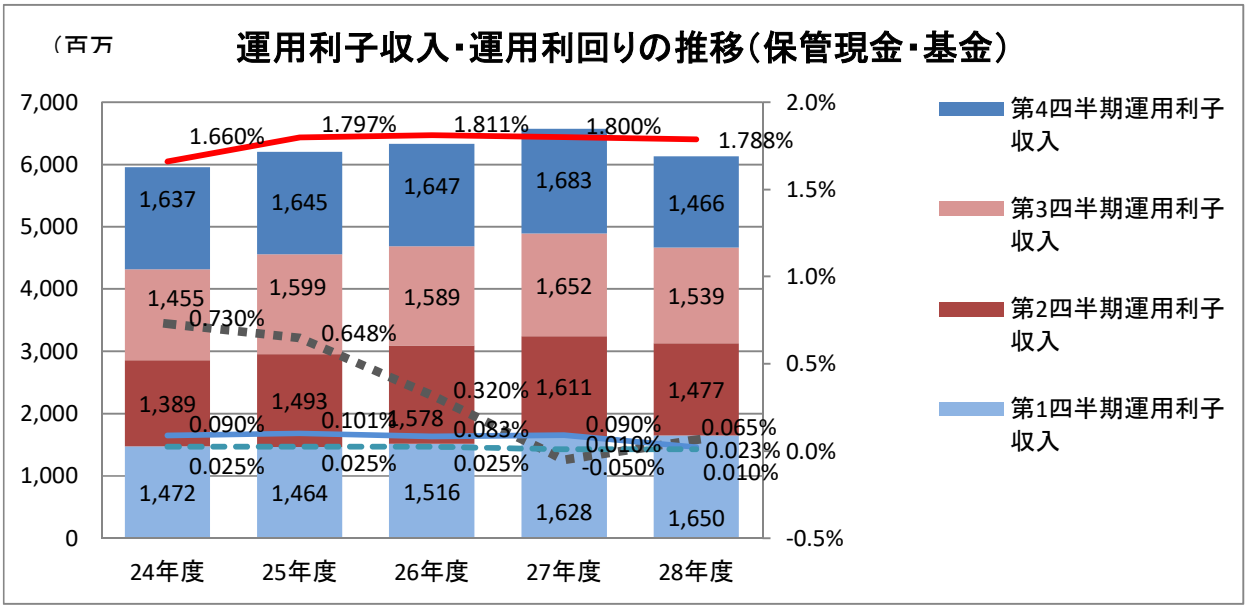
会計管理者が保管する現金やそれぞれの担当課等が特定の目的のために積立てている基金について、元本が保証され、かつ必要な時に支払ができるよう預金や債券で運用しています。（基金の運用利子は基金担当課等の収入となります。）

超低金利時代の中で、公金の運用を工夫し、運用収入の確保に取り組みます。また、基金を含めた公金運用収入について、高い利回りの水準を目指します。



項目	利子収入額				（単位：千円）
	第１四半期	第２四半期	第３四半期	第４四半期	累計
運用利子（保管現金）	23,427	2,352	7,694	3,353	36,826
前年度	26,734	56,091	40,598	91,110	214,533
運用利子（基金）	1,626,737	1,475,250	1,531,607	1,462,991	6,096,585
前年度	1,601,512	1,555,082	1,611,654	1,592,088	6,360,336
計	1,650,164	1,477,602	1,539,301	1,466,345	6,133,412
前年度	1,628,246	1,611,173	1,652,253	1,683,197	6,574,869

（参考）会計課のHP「神奈川県の公金管理」（http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f618/）において、県の公金の運用方針等を掲載しています。



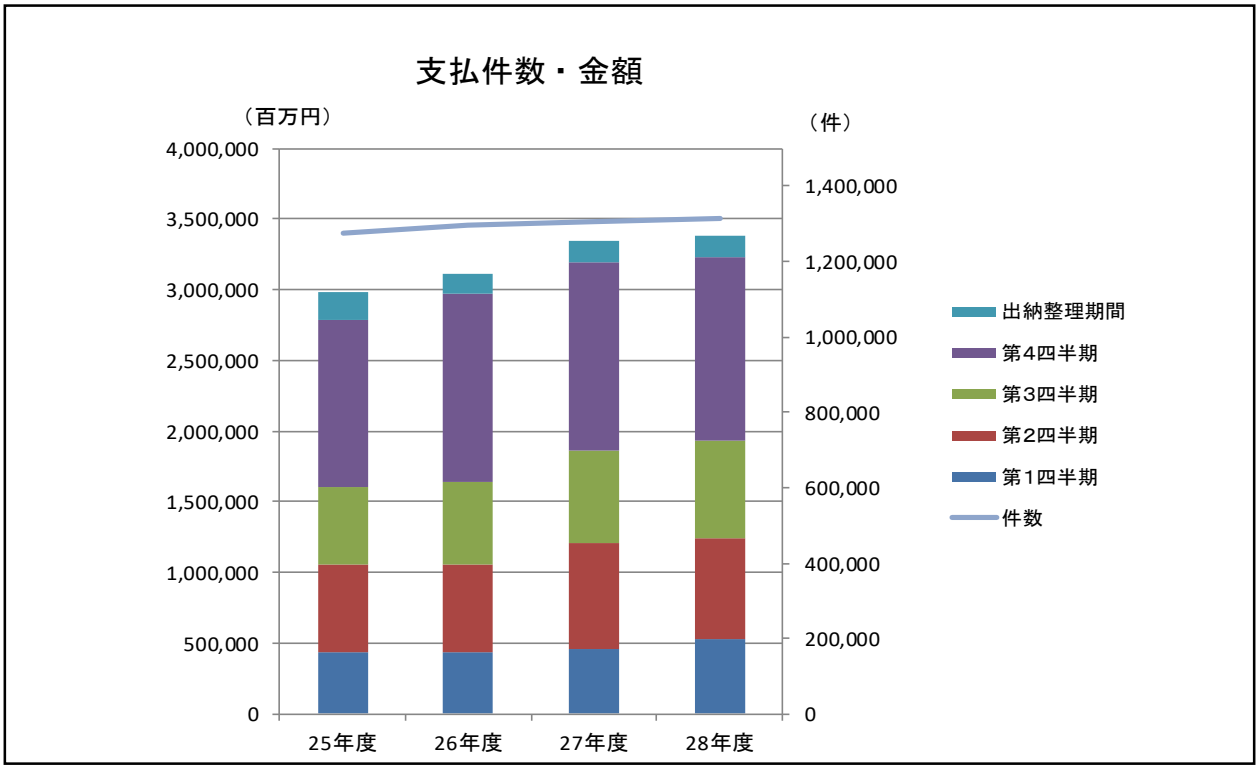
２　支払業務

県全体の日々の支払を取りまとめて債権者の方へ公金を支払います。また、支払事務が円滑に行われるよう、振込み不能の防止など全庁への指導や注意喚起を行います。

【公金支払額】※県全体の公金支払件数と金額

項目		支払件数・金額					
		第１四半期	第２四半期	第３四半期	第４四半期	出納整理期間	累　計
支払件数(件)		234, 008	310, 248	350, 289	324, 678	93, 781	1, 313, 004
	前年度	230, 128	289, 297	334, 460	339, 832	110, 889	1, 304, 606
支払金額(千円)		523, 552, 228	719, 736, 349	690, 798, 230	1, 292, 293, 300	154, 112, 533	3, 380, 492, 640
	前年度	464, 353, 319	743, 864, 089	655, 989, 680	1, 327, 320, 795	148, 483, 604	3, 340, 011, 487

（注）項目毎に千円未満四捨五入を行っているため、各計欄は各項目を合計したものと一致しない場合があります。

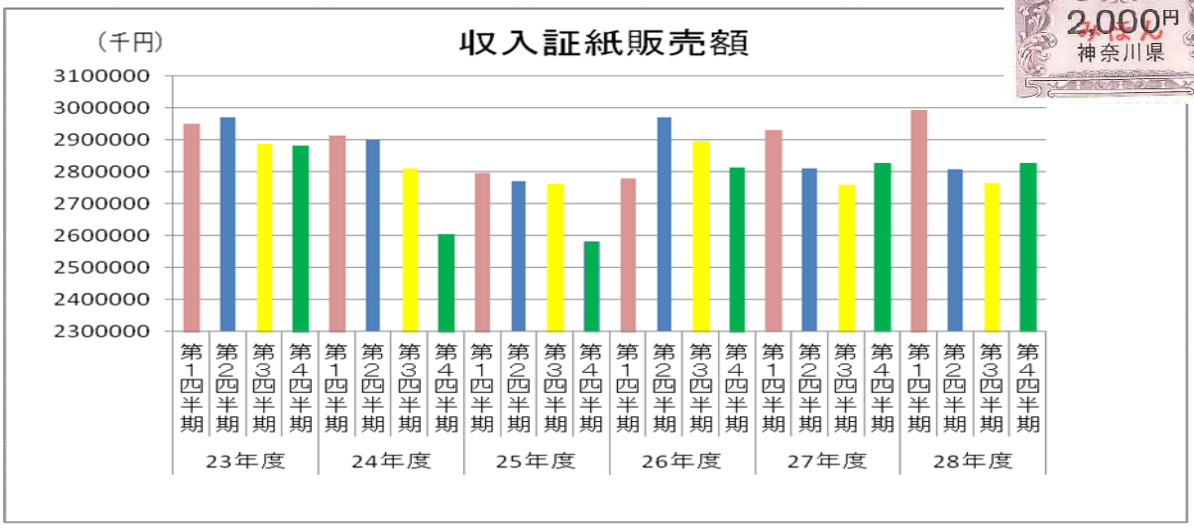


3　収入証紙の事務

全庁の手数料・使用料（主に運転免許証の交付やパスポート申請に係る手数料）の主な収納方法である収入証紙について、印刷、管理、販売及び販売者への手数料支払の一連業務を行っています。
なお、収入証紙の種類は、1円から10万円までの22券種あります。

項目		収入証紙販売額・取扱手数料支払額　（単位：千円）				
		第１四半期	第２四半期	第３四半期	第４四半期	累計
収入証紙販売額		2, 992, 587	2, 807, 693	2, 765, 197	2, 826, 289	11, 391, 766
	前年度	2, 929, 289	2, 810, 449	2, 758, 063	2, 825, 804	11, 323, 605
取扱手数料支払額		93, 192	86, 439	84, 156	87, 509	351, 296
	前年度	90, 220	86, 190	83, 846	86, 466	346, 722

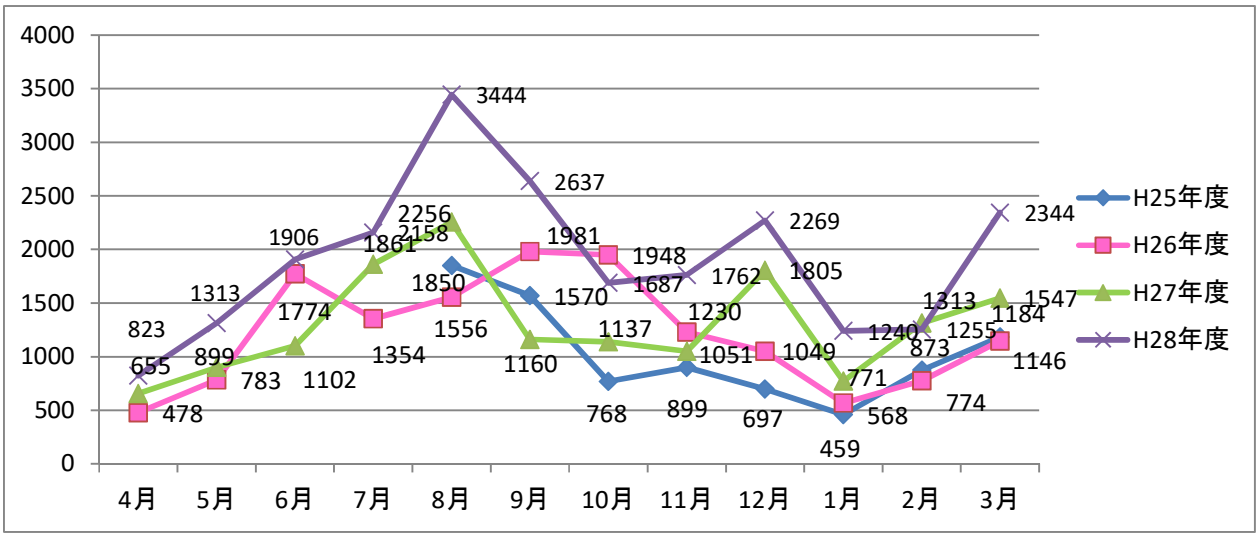
（注）収入証紙販売額には、県機関（県税事務所等）で直接販売した額を含みます。



4　会計の見える化について

行政運営の透明化やコスト意識を持ったマネジメントの向上を目的に、各所属の運営状況を示す「会計の見える化」を実施しています。平成25年８月の第１回目の公表から平成28年12月までの会計の見える化ホームページ（トップページ）のアクセス件数は次のとおりです。

項目	年間予定	アクセス件数(単位:件)				
		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	累計
件数	16,000	4,042	8,239	5,718	4,839	22,838
前年度	15,000	2,656	5,277	3,993	3,631	15,557



５　業務実績（数字で表せない業務）

項目	実績・進捗状況	
【決算事務】 　全庁における歳入歳出決算を調製し、決算関係資料を作成します。 　また、議会（決算特別委員会）の円滑な運営を行います。 →会計課HP「決算情報（一般会計及び特別会計）において、決算情報を掲載しています。 （http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f370106/）	第１四半期	・決算に向けて庁内各局と調整しながら、計数の整理を進めました。
	第２四半期	・全庁における平成27年度歳入歳出決算を調製し、決算関係資料を作成しました。 ・決算特別委員会に向けて、準備を進めました。
	第３四半期	・会計課をはじめ、局を挙げて議会の円滑な運営や庁内調整に努め、決算の認定を受けることができました。 ・平成27年度一般会計及び特別会計の決算を県のホームページで公表しました。
	第４四半期	・平成27年度決算事務の課題等を整理し、次年度決算に向けた準備作業を進めました。
【会計局全体の調整】 　会計局の筆頭課として、局内の全体調整、議会関係業務、予算調整等の取組みを実施します。	第１四半期	・人事異動による職員の交代などにあたり、業務が円滑に実施されるよう局内の調整を進めました。
	第２四半期	・翌年度の予算策定に向けて、必要額を見積もるとともに庁内関係課との調整を行いました。
	第３四半期	・翌年度に向けた予算、人事等に関し局内調整のうえ、関係機関と調整を進めました。
	第４四半期	・現年度の事務及び次年度の準備も並行して行う中で、円滑な事務執行が図られるよう各機関と綿密な連絡調整を行った。

Ⅴ　業務運営に関する評価

所属長評価	第１四半期	・定型的業務については、概ね予定どおり行うことができましたが、新たな取組等の進捗に遅れが生じており、今後業務の進行管理に一層努めます。
	第２四半期	・決算事務をはじめ、各業務について、概ね予定どおり行うことができましたが、新たな取組等で進捗に遅れが生じているものもあるため、引き続き進行管理に努めます。
	第３四半期	・平成27年度決算の議会認定を得るなど、概ね予定どおり業務を進めることができました。また、新たな取組等についても進行管理に努めました。
	第４四半期	・年度末に向け、現年度予定事業の着実な実施に取り組むとともに、次年度に向けた準備作業を進めました。
	総合評価	・年間を通して、概ね所管業務を計画どおり行うことができました。 ・決算事務については、議会（決算特別委員会）の円滑な運営や庁内調整に努め、決算の認定を受けました。 ・公金の運用について、超低金利の中、安全性を重視したうえで、効率的な運用を行い、約61億円の利子収入を得ることができました。

連絡先（電話番号）	総務グループ（045-210-6714）